会員と千葉県連盟をつなぐ

# ちばニュース

2012年2月号

## 千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2012年 2月1日発行　通巻226号（毎月1回発行）

## NPO法人 「ちば労山ゆう」に

## 参加しよう

# 2月号　目次


| | | |
|---|---|---|
| 2月号目次 | | 2 |
| 私の一名山 | 岡田　賢一 | 3 |
| 千葉県連盟定時総会のお知らせ | | 4 |
| 総会会場案内 | | 5 |
| 花博士の花便り | 中原　喜代治 | 6 |
| ふれあいハイクのお知らせ | | 7 |
| 沢んちゅの集い | | 8 |
| 郡界尾根縦走報告 | 相馬　行雄 | 9 |
| | 辺見　登志雄 | 10 |
| | 神田　武治 | 11 |
| | 春日　良子 | 12 |
| | 広瀬　範子 | 13 |
| | 村奈　正子 | 14 |
| | 笠井　美佐子 | 15 |
| 手賀沼クリーンハイク | 高橋　重 | 16 |
| 県連便り | | 17 |
| 2･3月予定表 | | 18 |


表紙と「私の一名山」について

今月号の表紙と私の一名山は、教遭委員長　岡田　賢一氏（船橋勤労者山の会)にお願いしました。

「残雪期の藪山に魅せられている」その殆んどは雪がないと登れないとの事、この経験が教遭委員長として、事故防止に対する取り組みに大いに活かされている。

参考までに、県連の事故は　2010年度　12件･2011年度　10件です。

編集委員会

私の一名山

# タカマタギ

岡田　賢一
（教遭委員長・船橋勤労者山の会）

　山屋は誰しも、自らの独自の想いを馳せられる山域と領域を捜し求めるだろう。
自分の場合、2000 年台の後半以降は残雪期の雪稜登りであった。中でも特に、残雪期にしか登られない（雪が消えると殆んど登り難い）という薮山に魅せられている。

“タカマタギ”は谷川連峰の北に有り、東面へ流れ込む毛渡沢を挟んで聳えており、上越国境の山々の前衛とは云えないものの、一歩隔てたヘソの如き位置を占めている山である。
しかもその山頂に至るルートは、一部のガイド本に記載されている棒立山北尾根（仮称）経由ではなく、棒立山東南尾根（仮称）よりのアプローチとなると、ラッセルに加えて棒立山直下の雪稜登りが必至の好事家向けルートとなる。

06 年 3 月我ら船山のメンバー 6 名は越後湯沢駅を出発した。無人の土樽駅で下車し、毛渡沢に懸かる橋を渡り、上越線と高速道の下を潜り抜けると林道は当然のようにラッセルが待っていた。
更に送電線付近より尾根に取り付き、急斜面をひたすらラッセルした。　その後は痩せ尾根を渡り、潅木帯に乗ったキノコ雪はスリングで確保して乗り越えた。　更に急斜面の雪庇をトラバースした後に直上し、棒立山頂上に到達した。尾根沿いに少し下った後、再び登り返すと漸くタカマタギの広く平らな山頂に立つ事が出来た。
360 度の大展望が可能なこの地点は、まさにこの地域の中心点である事が実感させられた。
翌日は日白山と東谷山を経て二居集落へ下山し、バスで越後湯沢駅に戻った。

かくして数年来の課題をクリアーし、更に翌 07 年は二居尾根経由で平標山にルートを伸ばしたが、1 日目の好天により翌日の気象をも甘く判断してしまい、猛烈な吹雪下での行動を余儀なくされられて参加メンバーの一部が手指に凍傷を負うという苦い経験をした。
雪山では「大丈夫だろう」ではなくて、冷静な判断が特に必須である事を改めて痛感させられたのだった。

先はながいぞーー
　　ちょっと、一服

# 2012年度（第45期）千葉県勤労者山岳連盟定時総会のお知らせ

千葉県連　広木　国昭

日頃、会員の皆様には県連盟活動に参加・協力をいただき有難うございます。

昨年度は、大きな節目の45周年を迎えました。会員の皆様と共に、幾つかの大きな壁を乗り越える事が出来ました。

3月11日の東日本大震災支援活動には、多くの会から多くの会員の参加をいただきました。その思いを受けて、NPO法人「ちば労山ゆう」を立ち上げました。

今後、千葉県連盟の総力を結集して、息の長い支援に取り組んで行きます。引き続き参加・協力をお願いします。

組織的には、加盟会　21会、会員数　778名（2011年11月末）、前年度　加盟会20会、会員数　756名　1会・22名の増加となりました。

これは、各会・会員の皆様が組織強化・会員拡大に取り組んでいただいた成果です。

下記のとおり、2012年度（第46期）千葉県連総会を招集します。

総会には、これらの成果を持ち寄って活発な意見交換をお願いします。

記

1、開催日時　　2012年3月4日12時から16時30分

2、開催会場　　千葉県総合スポーツセンター・スポーツ科学センター
（県スポーツセンター一番奥の4階建　3F　第1研修室）

3、当日の時程

| | |
|---|---|
| 理事集合 | 9:30 |
| 会場準備 | 9:30～10:00 |
| 理事会 | 10:00～11:00 |
| 受付開始 | 11:30～ |
| 総会開始 | 12:00～16:30（講習会・後片づけ） |

4、46期総会のポイント

- 定時総会を「2年に1回」とする。
  総会後、活動が軌道に乗るのは6月になる、12月には総会準備を備開始する。実質的な活動期間は6カ月間であること。総会関連業務「費用と作業」が大きいこと。2年にしても影響は少なく、活動が継続して出来る。
- 個人会員制の実施について。
  2010年度総会で個人会員制の実施を確認した。全国連盟から「個人会員制導入の基本構想」が提案された。千葉県連としては、個人会員制度の導入プロセスを検討し、千葉県連版「個人会員制度」を実施したい。
- 各委員会・救助隊体制の整備・強化につて。
- 県連役員・特に事務局体制の確立について。

以　上

２０１２年度（第４６期）千葉県連盟定時総会　会場案内図

◎　千葉県総合スポーツセンター・スポーツ科学センター（３Ｆ）・第１研修室

・住　所　　千葉市稲毛区天台町３２３

・電　話　　０４３－２９０－８５０１（代表）

・アクセス　・千葉都市モノレール利用：ＪＲ千葉駅東口～スポーツセンター

・京成バス利用：ＪＲ稲毛駅東口　草野車庫行～スポーツセンター前

・自家用車：イベントが多い時は、駐車場が混雑します。

総会終了後、懇親会もあります。

モノレール・バスの利用をお願いします。

## 花博士の花便り

中原　紀代治
ふわくハイキングサークル

立春を前に１月末からは、紅梅に続いて、白梅の花が咲き始めます。今年は、寒いので、1 月 20 日現在でも花を見ていません。梅の花の中で咲き分けの、“思いのまま”私の好きな花です、1 本の木の枝に、赤、白、ピンクの花が咲きます。　我が家では、ロウバイが、正月から咲き始めました。

**ロウバイ（蝋梅）　　ロウバイ科ロウバイ属　落葉低木**

蝋梅の品種は、ソシンロウバイ（素心蝋梅）、マンゲツロウバイ（満月蝋梅）、トウロウバイ（唐蝋梅）、などの栽培品種が有ります。中国原産で唐梅とも呼ばれ、蝋の細工の様な梅に似た花から“蝋梅”となったらしい。花は良い香りがあり、花の中心部の花弁は暗紫色です。一般に見かける蝋梅は、ソシンロウバイで、花全体が黄色です。ヒヨドリが花を食べに来ますが、種は、アルカロイドを含み有毒です。私の知るロウバイで有名な山は､秩父の長瀞の宝登山です｡2 月に約 2,000 本の花が咲きます。

**セツブンソウ　　（キンポウゲ科）セツブンソウ属**

セツブンソウは、2 月の節分の頃に咲くことから、名づけられました。関東では、少し遅く 2 月中旬から咲きます。石灰岩の地域を好む植物で、小さい白い花です。実際に花びらに見える部分は、ガク片です。関東では、秩父や栃木に咲く地域があります。お薦めは、栃木インター近くの霊場三峰山の山麓にある、「四季の森星野」に、セツブンソウの群生地があります。駐車場から 3 分の場所で観賞できます。

せつぶんそう
（きんぽうげ科せつぶんそう属）

ロウバイ（蝋梅）
（ろうばい科ロウバイ属）

# 第14回ふれあいハイクのお知らせ

ふれあいハイク実行委員会

2年に一度開催されている「ふれあいハイク」が、下記のように開催されます。

「ふれあいハイク」とは、障害者の方々をサポートして、ハイキングを一緒に楽しむ取り組みです。

労山の参加者には、車イスを押したり、手をつなぎあってサポートして、交流をして共にハイキングを楽しんでいただきたいと思います。

障害者参加者は30人、車イス7台の予定です。車イスには、ザイル・シュリンゲ・カラビナを用意して、1台に5・6人のサポート隊が付きます。

これらのサポーターを含めて、労山からの参加者は100人を予定しています。

ぜひ、ふれあいハイクの主旨を理解していただき、大勢の参加をお願いします。

記

**1、日程**　2012年5月20日　日曜日

**2、場所**　丹沢　弘法山～権現山

**3. 参加費**　4、500円

**4、集合場所**　千葉駅前　NTT前

**5、集合時間**　6時20分　6時30分出発

**6、行程表**　NTT前――穴川インター――市川PA（休憩）――首都高速――新保土ヶ谷インター――国道16号線――横浜町田インター――海老名SA（休憩）――秦野中井インター――弘法山駐車場……弘法山分岐……弘法山（昼食）……弘法山分岐……権現山……女坂……弘法山駐車場――秦野中井インター――海老名SA（休憩――横浜町田インター――国道16号線――新保土ヶ谷インター――首都高速――穴川インター――NTT前（解散）

**7、実行委員**　岡田正勝（千葉こまくさハイキングブ）
桑原年一（松戸山の会　県連ハイキング委員長）
中村美代子（茂原道標山の会　県連女性委員長）
山崎靖子（ふわくハイキングサークル）
坂田健太（船橋勤労者山の会）

**各会でまとめて、申し込みをお願いします。**

# 沢んちゅ（沢ネットワーク）の集い

― 意見交換会 ―

千葉県勤労者山岳連
理事長　吉田　哲治

我々千葉県勤労者山岳連盟には、21 の会と 7 百名以上の会員が集い、共に行動しております。この組織体は、昨年においては、東日本大震災の災害支援等に大きな役割を果たしたところです。

この千葉県連の中において、沢登りを志向する会員を結集したく、呼びかけます。県連の同志として、沢を愛する仲間として、共に切磋琢磨し、技術の向上、事故防止の取組み、沢や山の研究等、単一の会では成しえない様々なことに取組んでいきたいと思っています。

とは言え、初めての試みですので、どのような方向性を持って取組んでいくべきか、一度各会の沢志向者にお集まりいただき、意見交換をしたいと思います。来年度より本格的に活動していきたいと思っていますので、沢志向者が数多く集っていただきますよう、お願いいたします。

尚、参加対象者は沢経験者としますが、これから意欲的に沢登りをやりたいという方であれば、初心者でも歓迎いたします。

意見交換会
日時：2 月 2 日（木）19：00 より
場所：船橋市西部公民館　第三会議室
議題：１．各会における沢登りの現状報告
　　２．何を目指し、何を目的とするか
　　３．情報交換
　　４．その他

＊ 出席人数を把握しておきたいので、各会で取りまとめていただき人数を連絡いただきますよう、お願いいたします。

☆　**連絡先**　・　吉田　哲治　090-1406-5008　（tetsu195715@aol.com）

☆　☆　☆　**ジャンル別ネットワークの募集**　☆　☆　☆

吉田理事長の呼びかけで、沢登り愛好家のサークル「沢んちゅの集い」がスタートします。まだ、少数ですが他のジャンルでもネットワーク立ち上げの声が上がっています。この取組みの主旨に賛同していただける方の連絡をお待ちしています。

登山の主流派「縦走を楽しむ」白銀の世界を独占する「山スキーネットワーク」のんびりハイク「お花見ハイク」など、会を超え気の合った仲間と楽しみましょう。
連絡先：千葉県連ホームページ「事務局への問合せ」までお願いします。

**第11回郡界尾根縦走報告**

第 11 回房総郡界尾根縦走を終えました。

ふわくハイキングサークル　相馬行雄

千葉県は、安房・上総・下総地域に大別されます。歴史的には、海からはじまり、安房から下総へ発展してきました。房総丘陵は、安房と上総に広がる低い山並みと複雑な尾根からなる地形で、植物が多く豊な自然が広がり、里山の暮らしが営まれているところです。

この縦走は、房総丘陵の魅力が体験でき楽しめるコースです。今回は、計画通り、1 月 7 日～9 日の三日間の日程で実施しました。

参加人数３４名。　県内６会；こまくさＨＣ、ちば山、君津ケルン、松戸山、茂原道標、ふわくＨＣ、以下県外労山；神奈川藤沢山、埼玉新座山、栃木宇都宮ＨＣ，同クラブマウントアンサンブル、埼玉埜歩歩富士見山、及び一般と多くの会等から参加いただきました。

三日間とも、天候に恵まれましたが、県内参加者から骨折事故１件、ヒヤリハット３件が発生してしまいました。

事故の迅速な対応には地元の方にもご協力いただき、病院で見てもらうことができました。事故やヒヤリハットでは皆様に多大なご協力をいただきました。

ゴールしました皆様は、このコースの厳しさと素晴らしさ、そして多くの方々との交流もでき喜んでいただきました。また来年の再開を約束して終えました。

縦走全体を皆様に支えていただき、終えることが出来ました。県連及び関係者皆様には、ご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

※　同じ事故を繰返す事の無いように簡単に報告します。

①骨折事故：女性、急斜面で足を踏み抜いた際、咄嗟に木の根を両手つかんだ際に、左上腕骨を骨折。（手術せずに、通院にて治療）

②ヒヤリハット１：男性、稜線を縦走中に１５ｍほど滑落するがケガなし。腰痛もちとの事で腰に湿布をする。翌日も元気だったがリタイヤをお願いした。

③ヒヤリハット２：男性、嵯峨山近くで足が痙攣した。参加者に看護士さんがいたので要所を揉み解し、下山することができた。途中からサポート車で温泉へ。翌日回復が思わしくないのでリタイヤをお願いした。

④ヒヤリハット３：男性、林道歩きで足の裏にマメができ途中でサポート車へ、翌日回復が思わしくないのでリタイヤをお願いした。

**香木原の稜線**

**歩きやすく見えるが、**
**木の根がむき出しで、落葉も多くて滑る。**
**こんな所に、落とし穴が待っている。**

第 11 回郡界尾根縦走報告

## 「房総丘陵の魅力を満喫」

千葉こまくさハイキングクラブ
辺見登志雄

このたび参加させていただいたのは、平成２１年に続いて２回目のことです。
前回は２０名ほどの参加者であったのに対し、今回は３０名を超える大所帯。集合場所である浜金谷駅前も大賑わいで、ちょっとしたお祭り騒ぎの様相を呈する始末。
そんななかで、他の会の方から名前を呼ばれてあいさつを交わしたり、握手を求められたり、山歩きを始めて間もなかった前回とはちがい、幾分かの余裕をもったスタートが切れました。

鋸山の展望台を超え、裏鋸山にさしかかると、房総丘陵特有の深く切れ落ちるやせ尾根が出現。「一歩間違えたら…」というスリルで思わず緊張が走ります。
でも、これが楽しいんだという仲間の声を聞くと、まだまだ鍛錬不足の我が身が情けないやら悲しいやら。次回参加する時はここを楽しめるようにとの目標ができました。
初日は嵯峨山を越えて山中温泉まで。例によって手作りでぬくもりのある宵の宴は、他所では決して味わうことのできない貴重な体験です。

２日目は鴨川有料道路まで、水仙の花を愛で、遠く太平洋に続く景観を眺め、皆さんとの会話を楽しみながら、時の過ぎるのを忘れて歩きました。それでも陽が大きく西に傾くころに見えた「ようこそ鴨川」の看板は、我々を待ってくれていたような、暖かさを感じるものでした。またこの夜の宴会も、前日にまして楽しく盛り上がり、これこそこのイベント最大の山場、と感じたのは私だけではないと思います。

３日目は元清澄山を越えて清澄寺まで。歩き始めの急登はこのルートの名物といえる登りです。さらに急な下り、そしてまた登りと、３日間で最も過酷なコースが出現します。しかしこれもまた房総丘陵の魅力の一つなのでしょう。元清澄山の長い階段とともに忘れられない思い出になりました。

今回は、３日間をゆっくり振り返る余裕が持てたこと、そして楽しい思い出がたくさんできたことは大きな収穫でした。しかしながら、歩きながら伺った房総の自然に関する貴重なお話が、あまり頭に残っていないのが残念です。次回はしっかりメモを取りながら、きれいな景色や楽しい宴の思い出とともに、記憶に残すことが目標になりました。是非ともまた参加させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第 12 回房総郡界尾根縦走のお知らせ
２０１３年1月１２日（土）１３日（日）１４日（月）の３日間です。
仲間と一緒に参加して下さい。心よりお待ちしています。

第11回郡界尾根報告

## 第11回房総郡界尾根縦走に参加して

君津ケルン山の会　神田　武治

最初に、君津ケルンの会員が滑落し、皆さんに多大なご心配をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。また適切な処置をして頂きましたことに対し感謝申し上げます。幸いにも軽傷で済みましたとはいえ、今後二度とこのような事のないよう、心してまいりたいと思います。
どうもありがとうございました。

鋸山の新展望台から、淡く霞んで、しかしそれと確定できる程度に、東京スカイツリーが見える。雲ひとつない青空の下、浜金谷から車力道を登ってきて、汗ばんだ身にかすかな冷たい風が、心地よい。

ここで小休止後、本格的な郡界尾根縦走が始まる。山中温泉ではテントのフライが、バリバリに凍るほどの寒気だったが、鴨川有料道路のテント場では風も無く、快適な夜で、9日14：30頃には清澄へ辿り着いた。

私にとって今回は、初めてお会いする人の方が多かったように思う。しかし、それも山道を共に歩き、夕べに冷たい酒を酌み交わしているうちには、年来の友のようになるのだから楽しい。

最後の打ち上げの時、私は登山家の岩崎元朗さんが唱えていた「静移動、靜荷重」と絆について述べたが、ここで今少し述べてみると。静移動と静荷重とは、例えば右足を静かに上げて、前方へ静かに下ろす、そして左足の荷重を右足へ移動させる。次に左足を静かに上げてという風に繰り返して行く。特に房総の山では木の根が、縦横に走り、椎や樫類のような硬くて滑りやすい木の葉が、散り積もっている。つまづき、転びやすい。しかもこのことは誰でも理解していながら、時として今度のように我々の眼前で起こることを思えば、もっと真剣に考えねばと思った。

次に絆についてであるが、今回の縦走を終えてみて、危ない所にロープをつけたり、道が歩き易く整備されていたり、又ピークを乗り越えていた所が綺麗な巻き道になっていた所が随所にみられた。そして食事の準備や荷物の運搬等、ふわくの方々のこの縦走に対する熱意がひしひしと感じられて、とても嬉しかった、しかもこれからのことを皆さんは一面楽しみながらなさっているのではと思う。だから、11回も長く続いているのだと思う、このことが仲間を思いやる気持ち「絆」だと思ったのである。

房総郡界尾根縦走は、ふわくハイキングサークルの有志の皆さんが、地元房総の素晴らしい自然・歴史、生活に密着した里山文化に接していただき、継承して行くために始めました。今回は11回目です。

今回は、地元「君津ケルン山の会」の仲間が、班リーダーとして参加しています。

君津ケルン山の会は、千葉県連加盟会の中でも歴史のある会です。

県連行事にも積極的に参加しています。県連の東北支援活動にも毎回参加しています。君津市周辺からの入会者を紹介して下さい。

編集部より

第１１回郡界尾根縦走報告

## 山の経験と体力

ふわく HC　春日良子

初日、裏鋸山露岩を渡り下へ降りた所で、事故が起きた。その日のうちに、山中温泉の白石さんが病院へ連絡してくれた。手術してボルトを入れると聞いたが、その時の応急処置が的確だったようで、手術無しで済むようだ。出先で土曜日の午後なのに、みんなの協力で敏速に対応でき、本当に良かった。

二日目、男性が柚子の木林道尾根道で、足を滑らせ何メートルか落ちた。幸い自力で上がってきた。その後大丈夫だったと聞いた。その他、足の痛みを訴え二名縦走を断念した。

どんなに注意していても、ケガや事故は起きるだろう。自分も含め、互いに老いたのでしょうか。でも、老いたと決め付けるとそこで終わってしまう。今回のヒヤリハットは気になるし、今後の山行のためにも考えてみたい。

郡界尾根縦走に参加する人たちを見ると、山慣れと山の経験が十分にあると分かる。だが、体力・体調は、昨日良くても今日になって急変する可能性もあるだろう。経験豊富でも、体力を等しく持続させるのも難しいはずだ。

標高差の少ない郡界尾根縦走だが、長い道のりと小刻みなアップダウンの繰り返し、三日間歩きとおすことはけっして楽な縦走ではないと思う。連続して参加しているが、十二月になると緊張してくる。郡界尾根縦走の体力を考えると不安になるからだ。頼りないサブリーダーでも、途中でリタイヤするのも情けないことである。定期的に登山できればいいが、無理だろう。そこで、毎日の生活に自分なりの訓練をしている。自宅の階段登り下り・買い物など自転車や出来るだけ歩きにする。郡界尾根縦走当日に合わせ、調整して参加している。

このコースは、歩けば歩くほど好きになる。これからも参加して行きたいし、七夕様のように一年に一回しか会えない山の仲間たち、私にとって大切な群界尾根縦走である。みなさん・みんなありがとう。

房総の隠れた名湯
「山中温泉」
山の中にあるから山中温泉
いや違います。
地名が　富津市山中　です。
毎回お世話になります

（毎度、有難うございます）

第１１回郡界尾根縦走報告

## 初めて参加して

栃木宇都宮ハイキングクラブ　広瀬範子

「房総郡界尾根縦走」のお誘いを受けたとき、それまで考えたこともなかった千葉の山に想いを馳せてみました。そして「歩いてみたい」と思いました。
ましてや縦走ができるなんて!!
正直それまでは、房総と言えば「海」の印象だけが強く「山」にまで結びついていなかったのですが、この度の三日間の縦走で海を間近に感じながら歩き、やはり森があって豊かな海が育つのだという思いを強くした次第です。
栃木にも素晴らしい山々がありますが、どの頂上からも海を見ることはできません。
初日のコースでは、幾度も水平線を眺めることができ、存分に開放感を味わうことができました。
三日目のゴール近くの林道から、深い山並みのはるかかなたに、出発点の鋸山を目にすることができたのも素晴らしい光景でした。
　また、山中と鴨川の廃道での二回のキャンプでは、宴会の準備が手際よく準備されていきます。
その様子に千葉労山のパワーとチーム力が感じられ、これがこの度の震災のボランティアの活躍にもつながっていることを実感しました。
険しいルートの開拓などご苦労も多かったことと思いますが、この縦走が今年で 11 回目を迎えられたということは、その山の魅力と共に、リーダーを始めスタッフ、サポーターのみなさまのご尽力、情熱の賜物かと思います。
そのような貴重な山行に私も参加させていただけたこと、心より感謝申し上げます。
そして、一緒に歩いてくださった方々のご親切も忘れません。
最後に、残念なことでしたが、怪我をされた方々が回復され元気に復帰されることを栃木より祈っております。
有難う御座いました。

　クリーンハイクに参加して下さい。
千葉県連盟では、毎年房総の山でクリンハイクを実施しています。
豊かな自然を守るため、素晴らしい自然を後世に引き継いで行くために
自然保護委員会を中心に実施します。
昨年は、鬼泪山を守る会と協力し、鬼泪山周辺からゴミを一掃しました。
今年は、千葉県連の自然保護の原点である、七里川で実施する予定です。
追原ダム建設を阻止した運動の歴史にふれて、房総の自然保護を考えて
見ようではありませんか。

編集部より

第11回郡界尾根縦走報告

## 班長を努めて！

ふわくハイキングサークル　村奈正子

３度目の参加で男性名２名、女性４名の班長を任されました。班長の役目は理解していたつもりでしたが、班長としてしっかりとした歩きをしなければと自分の事でいっぱいになり皆に目がとどかなくなっていました。

嵯峨山の山頂に着いて、ホットしている時、「５班の班長さんはいませんかー。」と言われ、班の１人がトラブルになっている事を初めて知り、駆けつけるとAさんの足がつって歩けないとの事。山楽会の下さんも駆けつけてくれててきぱきと処置を始めました。まず暖かいハーブ茶を飲ませ、次に靴を脱がせて、中原さんが左足を下さんが右足をマッサージ。「イタイ！イタイ！」の声に「痛いでしょ。痛いでしょ。」と言いながらその手は動きを止めず「イタイ！イタイ！」。「ズボンの下は？」「はいてません」「だめだめ持っているなら、はいて！」 私はただその成り行きを見守るだけでした。

下さんの的確な処置のお陰でAさんは歩けるようになり、山頂まで進み、林道からサポーターの車に無事乗る事ができました。

この出来事があってから、班の先頭にいた私は後部について班の皆の様子を見て歩く事にしました。二日目、山中温泉を出発して順調に進んでいましたが、横尾林道付近でBさんがリタイヤ。 残った女性陣は三日目も完歩できました。

前回までは何も考えず、歩きを楽しんでいただけの自分が、少しでも皆を思いやる事が出来良い経験をさせてもらったと思っています。

腰や膝に不安をかかえている人は以外に多いと思います。日々鍛錬をし、また皆さんに逢えることを楽しみにしています。

房総の山とは思えない岩場
真っ青な空に映える

「山ガール」と「山爺」

第１１回郡界尾根報告

## 房総郡界尾根縦走に参加して

埼玉埜歩歩富士見山　笠井美佐子

２０１１年登山時報三月号に、今回の房総の豊かな自然に触れると題して、群界尾根二泊三日の縦走の記事が載った。ピークハントより縦走が好きな私、概念図の尾根の連なりがおいでおいでと手招きしている。その魅力に私はすっかり参ってしまった。幸いなことに、ふわくハイキングサークルに友人がいるので問い合わせてみる。自分も何度か歩いているけどいい山だよ、の返事に参加を決める。それっと、すぐ地形図を買いに走る。それが一年前の事。その気持ちを一年間心にしまって、心の準備とトレーニング山行をしまくった。友人の云う事には恐ろしげなコースが随所にあるよーと云っていたけど、あながち嘘ではなかったし、地図なんか見て歩けないよ、の意味もよくわかりました。スピーデイな歩行、アップダウンの連続、油断も隙もない地形の連続、バランス感覚の衰えてきた私としては、歩くことに専念しました。時間の余裕が出来て来ると身体の余裕がなくなってくる、人生よくしたものです。身体をいたわりながらまだまだ楽しい山歩きをしたいと思う。女房落としの崖から下を見ると千尋の谷の感がある。確か千葉にはそんなに高い山はないはずなのに・・・。千葉には山がないという人もいるが、ないのではなく厳しすぎてこんなにいいコースがあるのに近寄れないのではないだろうか。名ガイドがいるからこそ歩けたと思うし、このコースを繋いだ先人の方には深く感謝しています。この原稿を書きながらも、よく歩いたなーという満足感と充実感に酔いしれている自分がいる。自分の足に乾杯。今回参加して期待通りの山だったのが本当にうれしかった。そして千葉がとても身近な県になった事に気付く。ありがとうございました。

## 房総郡界尾根縦走　に参加して

広木　国昭　（ちば山の会）

参加者の皆さん、ふわくサポーターの皆さん　大変お世話になりました。
甘酒もお汁粉も、疲れた体に沁み込みました。こんな美味しいものがあるのに、なぜ、あんなにまずいビールとか日本酒挙句に焼酎まで飲むのだろう!!!

今回は、骨折事故や反対に転べば死亡事故の危険等が大変気になった。第１１回は１０歳、年を重ねたこと、自分を含めて参加者の年齢を見ると実感出来る。この年齢・体力であのコースを走破する事は、大きな冒険でもある。豊かな自然の中で何かを感じ、房総の山を感じる余裕はあるのか？

主催者が枯れ木をどかし、とらロープを設置してのコース整備には限度がある。
県連盟としても積極的に考えて行く時期であり、その必要性を強く感じた。
ただコース整備をすることが良いとは思えない。自然を傷つけず、楽しく安全に歩く事が出来る最低の整備を参加者、主催者と一緒に考えて行きたい。

自然保護委員会報告

# 手賀沼クリーンハイク 2011

岳人あびこ　　高橋　重

トライアスロンやエコマラソン、バードフェスティバルなどの催しが行われる手賀沼。5 回目となる手賀沼一周クリーンハイクは 11 月末、「親水公園水の館」を山の会らしくリュックを背負い、火バサミとビニール袋を持ったいつものスタイルで 8 時にスタートした。火バサミを手にすると、なぜか「ゴミを拾うぞ」との気分になる。登山靴を履くと、「山に行くぞ」との気持ちになるのと同じだろうか？

今回は初めて、我孫子市に設置されている５つの三等三角点の１つ、「子の神大黒天」の「20.30m」を目指す。手賀沼北側に沿った「ハケの道」から登る今日の最高点への急階段がきつい。文人が愛した湖畔の道にもどり、綺麗に手入れされた広い敷地の竹林の中に母屋や茶室、池などが古いまま残されている杉村楚人冠記念館、志賀直哉邸跡に立ち寄り、いつもどおり「船戸の森」の武者小路実篤邸跡へ向う。今年は運良く門が開いていた。山や神宮外苑、新宿御苑などに紅葉を見に出掛けたが、地元でハゼやモミジ、ドウダンなどの紅葉最盛期の邸庭を見学出来たのはラッキーだった。標高 20.20m の根戸城址で小休止し、うららかに晴れた湖岸の道を歩き、柏ふるさと公園で大休止する。

車の無い湖畔南側遊歩道はサイクリングやランナーが多く、ノルディックスキーや、車椅子レーサーなど様々な人達が楽しんでいる。このあたりではタイリクバラタナゴなどを釣る人も見掛ける。歩きやすく平坦な道は、ゴミも少ないためか、お喋りも弾み、先頭と後続の距離が少しづつひらいてくる。道の駅しょうなんに 12 時前に着き、昼食。メンバーが持って来てくれた美味しい漬物や、ラフランスやリンゴ、ミカンなどの果物で満腹になるが、まだ全行程の半分も来ていない。ここから湖南東側 4 分の１のフィッシングセンターまでの道が長い。火バサミがあるから歩けるのであって、ただ歩くのはイヤになる。立ち寄る史跡がないので、箕輪城や手賀沼の風景を楽しみながらひたすらゴミを拾う。

4 コーナーを過ぎると再び我孫子市に戻り、歩く速度が早くなる。釣堀２箇所を通ると、「あの人達は、何で鯉などのいる沼で釣らないのか？」ととても疑問に思う。趣味、人それぞれか、などと納得する。

ヒヤリハットも無く、15 時前に手賀大橋北に下山し、ああだこうだと楽しい反省会で喉を潤した。歩数計は 35,000 歩、20km 少々を歩き、湖畔とその周辺の史跡や名勝などの秋の風情を感じ、手賀沼の魅力を再発見した山行だった。

回収物：雑ゴミ 6kg、缶類 3kg、タバコ 200ｇ、ペットボトル 30 本、
その他：あめの包み紙が多かった。

# 県連たより

## 県連盟連絡先

◎　千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
　　レジデンス幕張台 101 号室
ＴＥＬ・ＦＡＸ：　043-306-1190
Ｅメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
ＪＲ総武線幕張本郷下車、海側　徒歩５分

◎　千葉県連ホームページ
　　http://www.cwaf.jp

◎　「ちばニュース」原稿送付先
　　newstoukou@cwaf.jp

◎　事故一報送付先
教遭委員長・岡田　賢一
　　ken-ichi@f4.dion.ne.jp
　　Ｆａｘ：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず送付の事

◎　連盟費振込み先
郵便振替口座　00160-3-481509
　　千葉県勤労者山岳連盟

◎　東北関東大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
　　00130-7-595190
加入者名　　佐藤　勝子
〒272-0023
　市川市南八幡　1-25-16

★　助けてください
事務局のお手伝いをお願いします。
　事務所の片付け・資料の整理などを、空いた時間でお手伝い下さい。一人でもお友達と一緒でも大歓迎です。
連絡は：広木まで・連絡先 ⇒ 090－8316－2020

## 県連盟よりのお願い

◎　東日本大震災支援活動
　１２月・１月と休止してた、支援活動を、２月から再開します。
　２月１１日（土）１２日（日）で石巻に行きます。多数の参加をお願いします。

◎　千葉県連総会
　３月４日（日）１３時より
　千葉県スポーツセンターです。
　代議員・傍聴員以外の方の参加を歓迎します。
・記念講演は、国土地理院にお願いする予定です。期待して下さい。
・終了後、懇親会を行います。
　参加して、交流を深めて下さい。
　参加希望者は、各会の県連理事までお願いします。

◎　全国的に、事故増加の傾向にあります。死亡事故も多発しています。その全てが、どうして？あんな所で　といった内容です。気を引き締めて楽しい山行をして下さい。

◎　ＮＰＯ法人「ちば労山ゆう」には、会員・準会員があります。
　４月からは、「ちば労山ゆう」として支援活動を実施の予定です。
　大勢の加入をお願いします。
　お待ちしています。
Ｅメール
　danphiro@zpost.plala.or.jp

# 県 連 活 動 予 定 表

| 2 月 | | | 3 月 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 水 | | 1 | 木 | |
| 2 | 木 | | 2 | 金 | |
| 3 | 金 | | 3 | 土 | |
| 4 | 土 | | 4 | 日 | 県連総会（スポーツセンター） |
| 5 | 日 | | 5 | 月 | |
| 6 | 月 | | 6 | 火 | 役員会 |
| 7 | 火 | 役員会 | 7 | 水 | |
| 8 | 水 | | 8 | 木 | |
| 9 | 木 | 女性委員会 | 9 | 金 | |
| 10 | 金 | | 10 | 土 | |
| 11 | 土 | 支援活動（石巻） | 11 | 日 | |
| 12 | 日 | 〃 | 12 | 月 | |
| 13 | 月 | | 13 | 火 | |
| 14 | 火 | | 14 | 水 | |
| 15 | 水 | | 15 | 木 | 第1回理事会 |
| 16 | 木 | 理事会 | 16 | 金 | |
| 17 | 金 | | 17 | 土 | |
| 18 | 土 | 全国総会（晴海グランドH） | 18 | 日 | |
| 19 | 日 | 〃 | 19 | 月 | |
| 20 | 月」 | | 20 | 火 | |
| 21 | 火 | | 21 | 水 | |
| 22 | 水 | | 22 | 木 | |
| 23 | 木 | 拡大部会 | 23 | 金 | 拡大部会 |
| 24 | 金 | | 24 | 土 | |
| 25 | 土 | 関東ブロック救助隊合同訓練 | 25 | 日 | |
| 26 | 日 | 〃 | 26 | 月 | |
| 27 | 月 | | 27 | 火 | |
| 28 | 火 | | 28 | 水 | |
| 29 | 水 | | 29 | 木 | |
| | | | 30 | 金 | |
| | | | 31 | 土 | |

発行者　：　千葉県勤労者山岳連盟
〒261－0013　千葉市花見川区幕張本郷　1－29－18
rジデンス幕張台101号
TEL・FAX　：　043－306－1190　（事務所には常駐していません）
E　メール　：　rousanchiba@grape.plala.or.jp
発行者責任者　：　吉田　哲治　　編集責任者　：　広木　国昭

**3月予定は、総会後決定のため空欄とします。**